

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	公共施設適正化推進事業			事業番号	35-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部行政経営担当	酒井 哲也	公共施設マネジメント課	桐生 尚直	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	35	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
予算事業名	公共施設総合管理事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	～	終了年度	-	
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	公共施設等総合管理計画			計画期間	平成27年度～令和26年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	昭和40年代から50年代にかけて集中的に整備された公共施設が今後一斉に更新時期を迎えることとなります。また、今後、人口減少・少子高齢化が進展し、厳しい財政状況が続くと予想されており、公共施設の更新等に必要経費が不足すると見込まれています。こうした中、社会経済環境の変化に対応するための政策課題の一つとして、公共施設のマネジメントが求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	公共施設等総合管理計画に示した「目指す将来の姿」の実現に向け、施設の統合や機能集約、受益者負担の適正化など、基本方針として位置付けた取組を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市が保有又は使用する公共施設				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担の適正化を図るため、関係条例の適正な運用を行います。 国の策定指針の改訂を踏まえ、公共施設等総合管理計画の改訂を進めます。 				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	受益者負担の適正化	条例の運用	条例の運用		
	公共施設等総合管理計画の改訂	調査・検討・中間まとめ	計画改訂		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	公共施設等総合管理計画改訂に向けた取組状況	準備 (令和2年度)	調査・検討・中間まとめ	計画改訂	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	公共施設等総合管理計画について、平成28年の計画策定からこれまでの取組実績を反映させるとともに、公共施設の統廃合や機能の集約化・複合化等を含む公共施設の将来のあり方の検討に向けて、機能面も含めて公共施設の現状や課題を把握・整理し、計画の改訂に向けた作業を進めます。 また、行政センター地区内の各公共施設の再配置についても、合わせて検討を進めます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	受益者負担の適正化	条例の運用	
	公共施設等総合管理計画の改訂	一部見直しの実施	
実施した取組の内容	公共施設等総合管理計画について、平成28年の計画策定からこれまでの取組実績を反映させるとともに、総務省からの通知に基づく総合管理計画の見直しに当たって記載すべき事項を追記し、総合管理計画の一部見直しを行いました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
	公共施設等総合管理計画改訂に向けた取組状況	準備 (令和2年度)	令和3年度 調査・検討・一部見直し 令和4年度

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計 (a)	8,124		千円					千円	
	内訳	国県支出金 ①	0		千円					千円
		地方債 ②	0		千円					千円
		その他特財 ③	0		千円					千円
		一般財源 (a)-①-②-③	8,124		千円					0 千円
	国県支出金の内容									
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	2	人	16,360	千円			人	千円
		その他の職員	0	人	0	千円			人	千円
		人件費合計 (b)	2	人	16,360	千円			人	千円
	トータルコスト (a)+(b)				24,484	千円			0 千円	
	単位当たりコスト	対象数	市民		単位				単位	
		定義								
対象数				101,381	人					
総事業費 / 対象数				242	円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	公共施設等総合管理計画について、平成28年の計画策定からこれまでの取組実績を反映させるとともに、総務省からの通知に基づく総合管理計画の見直しに当たって記載すべき事項を追記し、総合管理計画の一部見直しを行いました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	公共施設等総合管理計画については、総務省から、計画の推進を総合的かつ計画的に図るとともに、不断の見直しを実施し、充実させていくため、令和3年度中に見直すことが求められており、総務省通知による計画の見直しに当たって記載すべき必須事項を反映した上で、令和3年度中に一部見直しを行いました。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	今後の社会経済環境の変化に対応し、真に必要なとなる公共施設サービスを維持していくためには、施設の統廃合や機能集約等の取組を継続して進めていく必要があります。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	公共施設サービスを維持していくため、公共施設等総合管理計画の見直しを行うとともに、公共施設等総合管理計画に基づく施設総量の縮減、管理運営経費の削減に向けた検討を行いました。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	社会経済環境の変化に対応し、真に必要な行政サービスを見極め、それらを実現するために必要な施設を維持し、まちづくりを進めていくためには、各施設が担う機能やあり方を整理し、全職員が課題を共有して、市民等の理解を得ながら公共施設の見直しを進める必要があります。
令和4年度の取組方針		公共施設等総合管理計画については、機能面も含めて公共施設の現状や課題を把握・整理し、公共施設の統廃合や機能の集約化・複合化等を含む公共施設の将来のあり方を検討し、総務省の公共施設等総合管理計画の策定等に係る指針(令和4年4月1日改訂)に基づき、全面改訂するとともに、中期における個別施設毎の施設・機能の再編のあり方を示す「(仮称)公共施設再配置プラン」を策定します。		
所管部長による総評		公共施設の適正管理を計画的に進めるため、維持管理・更新等に係る中長期的な経費や財源の見込みなどの財政的な視点も含めて、公共施設の縮充・再編整備の具体化に向けて、令和4年度に公共施設等総合管理計画の見直し(全面改訂)を行います。 また、今後10年間における個別施設毎の施設・機能の再編・見直しの方向性を示す「(仮称)公共施設再配置プラン」を策定します。		